



# 「救急の日2013」の開催

## 救急企画室

### 1. はじめに

「救急の日」は、救急医療及び救急業務に対する国民の正しい理解と認識を深め、救急医療関係者の意識の高揚を図ることを目的に昭和57年に定められ、以来、毎年9月9日を「救急の日」とし、この日を含む1週間（日曜日から土曜日まで）を「救急医療週間」としています。今年の救急医療週間は、9月8日（日）から14日（土）までであり、全国各地で様々な行事等が催されました。消防庁では、厚生労働省・一般社団法人日本救急医学会・一般財団法人日本救急医療財団と共催し、お台場「ダイバーシティ東京プラザ」において、「救急の日2013」のイベントを開催しました。

また、9月9日（月）には、平成25年度救急功労者表彰式をとり行い、東京都千代田区大手町のK K R ホテル東京において、救急業務の推進に貢献し、もって国民の生命身体を守るとともに社会公共の福祉の増進に顕著な功績があった方々を表彰いたしました。

### 2. 「救急の日2013」のイベント

メインステージでは東京消防庁救急隊により、「成人男性が突然心肺機能停止状態になった。」との想定のもとに訓練が展開されました。指令員の口頭指導によりバイスタンダーがC P RとA E Dを実施し、救急隊到着後は救急救命士が実際の救急現場で行う器具気道確保や薬剤投与といった、救急救命処置のデモンストレーションが臨場感一杯に実施されました。救急救命処置の必要性や市民が行う一次救命処置の重要性も説明され、多くの方々が足を止めて見学してくださいました。

特別アトラクションでは、タレントの佐藤弘道さんを迎え、熱中症や家庭内事故の対処法などのトークで会場を沸かせ、その後心肺蘇生法を実演していただき、応急手当の重要性についてアピールしていただきました。

その他、日本赤十字社応急手当指導員による来場者対象の応急手当指導、一般社団法人日本救急医学会による心肺蘇生法の講習と子供向け実習指導、災害派遣医療チーム（DMAT）の実演訓練などのイベントが催されました。

救急車・ポンプ車・水陸両用車の展示や起震車の体験搭乗が行われ、日頃見る機会の少ない車両を前に、皆さん真剣な眼差しでご覧になっておられました。

また、消防庁のマスコットキャラクターの「消太」をはじめ、東京消防庁の「キュータ」、札幌市消防局の「リスキュー」、ご当地ゆるキャラの「ぐんまちゃん」も登場し、リーフレットを配布、大人から子供まで記念撮

影や握手をお願いされるなど大人気でした。

### 3. 平成25年度救急功労者表彰式

今年は、9月9日（月）に東京都千代田区大手町のK K R ホテル東京11階「白鳥の間」において、大江秀敏全国消防長会会長、山本保博一般財団法人救急振興財団会長の御臨席の下、総務大臣表彰（16名）及び消防庁長官表彰（16名）が行われ、それぞれ新藤総務大臣、大石消防庁長官から表彰状と記念品が授与されました。また、受賞者を代表して大阪府の杉本侃氏が謝辞を述べられました。

救急功労者表彰では、永年にわたり救急隊員の教育・指導や救急患者の積極的な受入れなどを通じ、各地域の救急医療を支えてこられた方々や、後進の救急隊員の指導や一般市民への応急手当の普及啓発などを通じ、各地域の救急体制の構築に貢献された方々が表彰されております。

### 平成25年度救急功労者表彰受賞者名簿

#### 総務大臣表彰（個人）〈16名〉

あかま 赤間	よういち 洋一	61歳	社会医療法人将道会総合南東北病院 副院長 兼 救急センター所長 宮城県
あさり 浅利	やすし 靖	52歳	国立大学法人弘前大学大学院医学 研究科救急・災害医学講座 教授 青森県
いわさ 岩佐	としあき 敏秋	67歳	医療法人イワサ小児科 院長 三重県
おぐら 小倉	しんじ 真治	54歳	岐阜大学大学院医学研究科救急・ 災害医学分野 教授 岐阜大学医学部附属病院 高次救 命治療センター長 岐阜県
かきぬま 柿沼	けんいち 健一	55歳	独立行政法人労働者健康福祉機構 新潟労災病院 副院長 新潟県
くき 久木田	いちろう 一朗	58歳	国立大学法人琉球大学医学部附属 病院 副病院長 沖縄県
しのはら 篠原	かずあき 一彰	50歳	一般財団法人太田総合病院付属太 田西ノ内病院 救命救急センター 所長 福島県
すぎもと 杉本	つよし 侃	81歳	医療法人緑風会病院 理事長 大阪府
ふけ 福家	のぶお 伸夫	61歳	帝京大学ちば総合医療センター 救急集中治療センター長 千葉県
まきもと 蔭本	やすし 恭	69歳	医療法人保善会田上病院 理事長 長崎県



高規格救急自動車の展示



子供向け実習指導



水陸両用車とガンダムのコラボレーション



式辞を読み上げる新藤総務大臣



表彰状を読み上げる新藤総務大臣

まつだ けんいち 松田 兼一	55歳	山梨大学医学部救急集中治療医学講座 教授	山梨県
みなみ しんじ 南 眞司	64歳	南砺市民病院 院長	富山県
むらかわ たくあき 村川 徳昭	64歳	大館市立総合病院 副院長	秋田県
やすだ すずむ 安田 貢	50歳	独立行政法人国立病院機構 水戸医療センター 救命救急センター部長	茨城県
やまもと いそとし 山本五十年	63歳	東海大学医学部医学科 特任准教授	神奈川県
よこた ひろゆき 横田 裕行	58歳	日本医科大学付属病院副院長 同付属病院高度救命救急センター部長 日本医科大学大学院医学研究科外科系救急医学分野教授 日本医科大学救急医学教室主任教授	東京都

さとう せいき 佐藤 誠貴	60歳	学科 准教授	東京都
たにがき まさや 谷垣 昌也	54歳	元弘前地区消防事務組合消防本部 総務課参事	青森県
なかの りゅうしん 中野 隆信	59歳	京都中部広域消防組合消防本部 園部消防署警防課長	京都府
はまにし まさよし 濱西 正吉	58歳	富山市消防局 参事事務取扱 大山消防署長	富山県
ひじおか のぶひろ 脇岡 信寛	53歳	豊中市消防本部 参事 兼 救命課長	大阪府
ふかや としみ 深谷 利美	58歳	福岡市消防局 西消防署 警備課 元岡出張所 所長	福岡県
めつぎ まさあき 目次 昌章	54歳	前橋市消防局 北消防署 副署長	群馬県
よしだ としふみ 吉田 俊文	58歳	松江市消防本部 松江市北消防署 東部分署 分署長	島根県
よしだ としふみ 吉富 一夫	59歳	上市市消防本部 消防長	山形県
		長門市消防本部 警防課長	山口県

**消防庁長官表彰（個人）〈16名〉**

あかざわ せいじ 赤澤 精二	59歳	大和市消防本部 参事 兼 救命救命課 課長	神奈川県
あさだ がいさく 麻田 外作	52歳	白山野々市広域消防本部 消防課 参事 兼 救急係長	石川県
いとう あきお 伊藤 昭夫	59歳	恵庭市消防本部 恵庭市消防署南出張所 所長	北海道
かねこ ひろし 金子 浩	62歳	元別府市消防本部 次長 兼 署長	大分県
きただて よしひろ 北館 善裕	59歳	大崎地域広域行政事務組合消防本部 消防長	宮城県
こんの ただし 金野 忠志	59歳	一関市消防本部 消防次長 兼 総務課長	岩手県
さいとう えいいち 齊藤 英一	60歳	国土館大学体育学部スポーツ医科	

**4. おわりに**

今後も消防庁では、都道府県や市町村、厚生労働省などの関係機関と連携し、救急業務の実態についての正確な情報提供に努め、国民の皆様々に救急業務についての正しい理解を深めていただくとともに、救急需要対策の一環として「救急車の適正利用」について、各種広報媒体を有効に活用するなど、救急業務の普及啓発活動等を積極的に展開していきたく思います。

**問合わせ先**

消防庁救急企画室 上西、中村  
TEL: 03-5253-7529